

## 第2章 目指すべき景観像とテーマ

## 第2章 目指すべき景観像とテーマ

### 【景観像とテーマ】

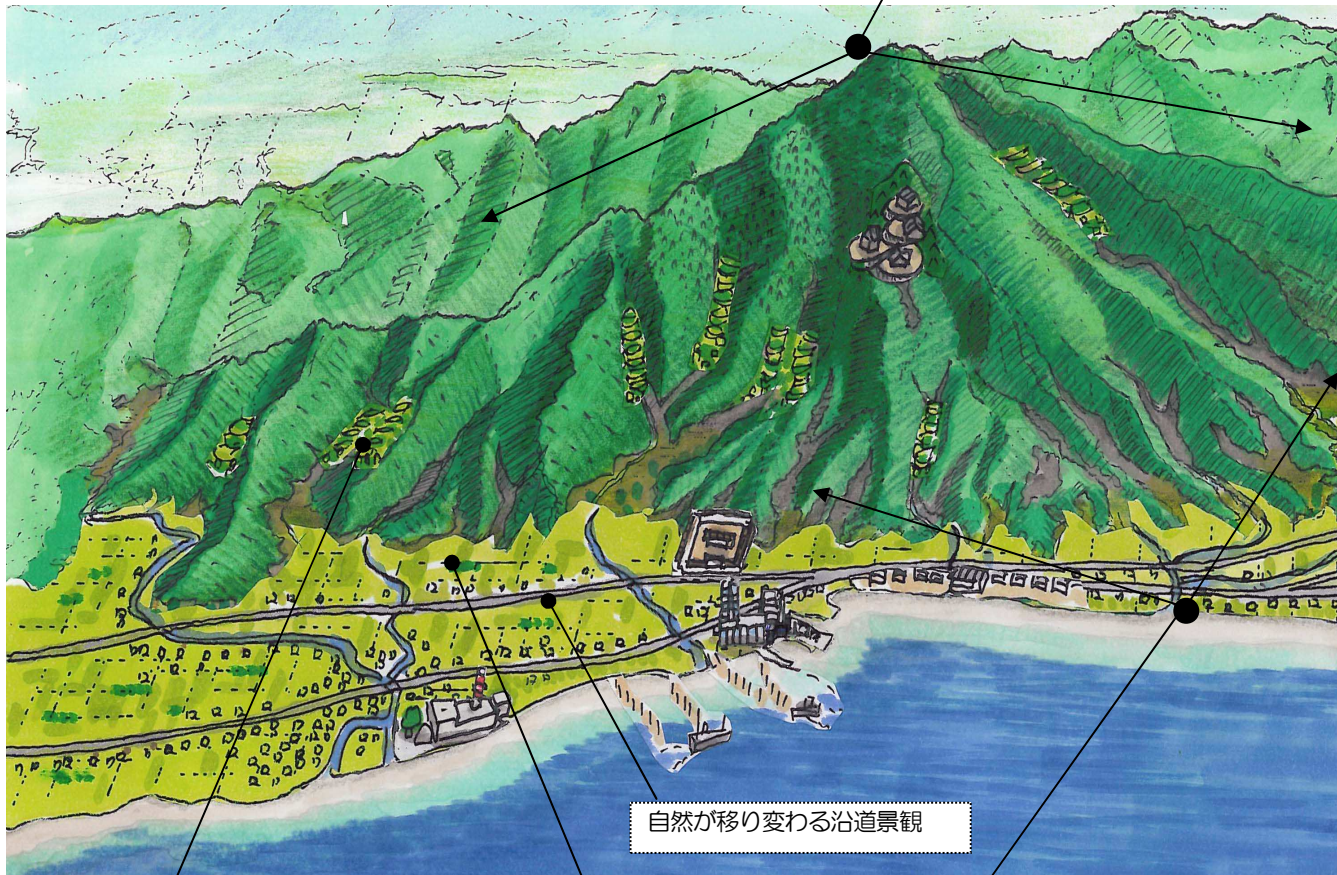
#### みち文化と清流文化の連帯が奏でる“豊姫の国”の景観

京築地域の美しい景観は、太古より今日まで受け継がれてきた山並み、谷筋、丘陵、平野、海といった大地形によって形づくられています。

その上に、古代より伝来してきたみち文化が作り出す景観と、河川沿いに育まれるなりわいやいとなみを礎とした清流文化が作り出す景観が重なり合い、時代の変化とともに少しずつ形を変えながら今日へとつながってきたものが“豊姫の国”の景観といえます。

この景観を活かしたまちづくりには、京築地域の連帯による取り組みが求められています。地域住民、まちづくり団体・NPO、企業、行政等の多様な主体が垣根を越え、京築地域の景観を守り育て、新しい魅力を生み出すために、広域的に参画、連携、協働し、京築地域全体で奏でる景観を未来へ引き継いでいきます。

山から豊前海を望む  
絵になる眺望景観



自然が移り変わる沿道景観

固有の生活文化を形成する谷筋の景観



豊かな恵みがもたらすなりわいの景観



海から山並み、谷筋などの大地形を望む絵になる眺望景観



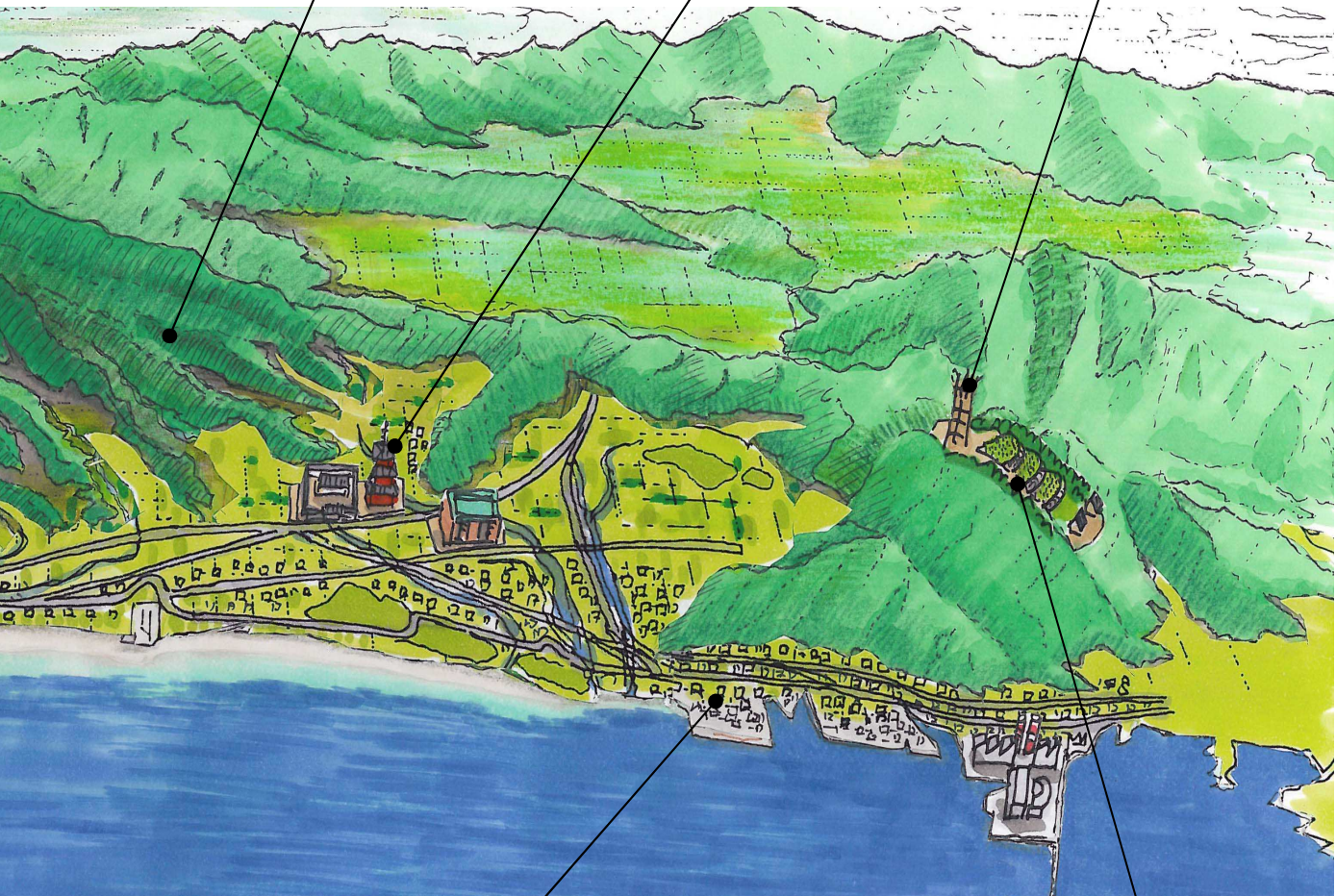
多様な生態系を育む山や川沿いの豊かな自然景観



みちが伝える歴史景観



人々のなりわいととも伝わる祭礼景観



地域の中心としてまとまりや賑わいのある住宅・商業市街地の景観  
新たな産業として活力を感じさせる工業市街地の景観



豊かな恵みがもたらすなりわいの景観

